

～コミュニティ・スクールだより No.12～

氷川町小中学校コミュニティ・スクール連携協議会事務局

熊大教職大学院生視察研修【12月9日(月)】

熊大教職大学院の教授と学生40名ほどが氷川中学校に来校され、氷川町CSや地域学校協働活動、氷川中学校の取組について視察されました。氷川町の取組についてとても熱心に質問などされ、学校の現状と照らし合わせ、地域との良い関係性や、先生方との共通理解・連携など、あらゆる視点で意見交流ができました。今年度は、11月に福岡県香春町教育委員会からも視察に来ていただきましたが、改めて、氷川町の取組を振り返り、改善点や地域の良さに気付かされる良い機会となっています。



「なんのために、活動をするのかをみんなが共有してやるからこそ、お互いにとってwin-winの関係になれる！」
(氷川町の松岡修造)



氷川中学校での熊本大学院生、視察研修の様子

受験まであとひとふんばり！先輩よりエール（氷川中学校）【12月16日(月)】

氷川中学校を2年前に卒業した深水祐誓さん、奥村隆斗さん、西大地さんの3人が後輩のために、氷川中学校に駆け付け、受験生に向けエールを送ってくれました。自分たちの経験談や現在の高校生活などを踏まえ、わかりやすく話す姿はとても頼もしく、先輩ぶりを発揮していました。「学んだことをアウトプットする大切さ」「スマホは武器にもなるし、足枷にもなる」など、いろいろな名言を後輩に伝えてくれました。

先輩の言葉のように、卒業まで精一杯悔いのないよう自分と闘い、頑張り抜くこと、そして一緒に頑張った仲間と過ごす時間をお互い大切にしてくれることでしょう。



「それぞれの先輩方の教えを活かしていきたいです。先輩方のように常に目標を持って頑張ります！」
(氷川中学生お礼の言葉 出口さん)

力を合わせ創立150周年記念式典に向けて（竜北西部小学校）【12月23日(月)】

竜北西部小学校では、創立150周年記念式典に向け、PTA、CS委員、教職員、児童が協力し、それぞれの立場で知恵を出し合い、思いを一つに取り組みんでいます。その活動の一つとして、150年のあゆみを編集するため、地域の方にインタビューをしました。

また、夕方からは代表者が集まり、進捗状況や今後の打ち合わせなど確認しあい協力体制を固めました。東PTA会長も「応援して下さる方、地域で楽しみにされている人達のためにも頑張ってやり遂げましょう！」と気合いを入れ盛り上げていました。



元気に通っている子どもたちはかわいか。思い出をたくさん作ってください。
中根さん（81歳）

戦時中で勉強したくてもできなかった。精一杯何でも頑張りたい。
前田さん（92歳）

